

けんぽだより

2021
秋号



山口県 常栄寺の雪舟庭／提供：アマナ

雪の聖母会健康保険組合



ポストコロナに向けて

充実させる予算編成に期待

雪の聖母会健康保険組合 理事長 井手 義雄

被保険者ならびにご家族の皆さまにおかれましては、平素より当健康保険組合の事業運営にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

●2022年度予算の概算要求総額は 4年連続で過去最大

2022年度の各省庁の予算概算要求総額は、111兆円を超える、4年連続で過去最大となる見通しで、100兆円を超えるのは8年連続となり、国債の元利払い費である国債費も30兆2362億円見込まれています。歳出の3分の1を占める社会保障費が膨らみ厚生労働省の2022年度予算概算要求額は、一般会計総額33兆9450億円で、2021年度当初予算33兆1380億円から8070億円、2・4%の増となっています。このうち、年金・医療等に係る経費は31兆7791億円で、同31兆1053億円から6738億円、2・2%増となっています。内訳は、年金が12兆7000億円、医療が12兆1000億円、介護が3兆3000億円、円、障害福祉その他が3兆7000億円です。

2022年度予算概算要求の特徴的なことは、項目のみを掲げて計上額は予算編成過程で検討される「事項要求」が多いことがあります。主な事

項要求は「感染状況を見極めながら」とされているコロナ対策予算をはじめ、次の通りです。

- ①診療報酬・薬価改定
- ②雇用保険の国庫負担
- ③児童虐待防止対策・社会的養育の迅速かつ強力な推進
- ④不妊治療の保険適用
- ⑤水道施設の耐災害性強化対策等
- ⑥消費税率引上げと合わせて行う社会保障の充実および「新しい経済政策パッケージ」で示された「教育負担の軽減・子育て層支援・介護人材の確保」
- ⑦過去の年金国庫負担繰り延べの返済

●財源は消費税を含めて過去最高に 「2022年危機」に備える予算

社会保障制度にとって重要なことは、2022度予算の財源が消費税収を含めて過去最高額とな

つていることです。社会保障の充実については「消費税率引上げと合わせて行う」とされており、消費税収はすでに国の税収全体の34・5%を占めています。「社会保障と税の一体改革」は一定の成果が認められます。今後は、コロナを含めた社会保障と財源について、新たな展望を検討する時期を迎えるのではないかといわれています。さらには、「2022年危機」への対応です。医療保険制度にとって「2022年危機」は、団塊世代が後期高齢者に到達することで、医療保険の財政をさらに圧迫して医療保険制度が存亡の危機に陥ることに備えるのも2022年度予算です。

2022年7月7日に閣議了解された「2022年度予算概算要求にあたっての基本的な方針」では、2022年度予算は、「経済財政運営と改革の基本方針2021」（以下「基本方針」という。）および「経済財政運営と改革の基本方針2018」で示された「新経済・財政再生計画」（以下単に「新経済・財政再生計画」という。）の枠組みの下、手を緩めることなく本格的な歳出改革に取り組むとされており、具体的には次の通りです（次頁左図み）。

●期待される社会保障制度を充実させる 予算編成

厚生労働省の2022年度予算概算要求では、新型コロナウイルス感染症から国民の命・暮らし・雇用を守る万全の対応を引き続き行うとともに、感染症を克服し、ポストコロナの新たな仕組みの構築、少子化対策、デジタル化、力強い成長の推

進を図ることにより、一人ひとりが豊かさを実感できる社会を実現するため、次の重点的な要求が行わわれています。

「2022年度予算概算要求にあたっての基本的な方針」の骨子

1. 要求・要望

- 年金・医療等については、前年度当初予算額に高齢化等に伴ういわゆる自然増（6,600億円）を加算した範囲内で要求。ただし、増加額について、「新経済・財政再生計画改革工程表」に沿って着実に改革を実行していくことを含め、合理化・効率化に最大限取り組み、高齢化による増加分に相当する伸びにおさめることを目指すこととし、その結果を2022年度予算に反映させる。
- 地方交付税交付金等については、「新経済・財政再生計画」との整合性に留意しつつ要求。
- 義務的経費については、前年度当初予算の額の範囲内で要求。義務的経費を削減した場合には同額を裁量的経費で要求可。参議院議員通常選挙に必要な経費等の増減については加減算。
- その他の経費については、前年度当初予算額の100分の90（「要望基礎額」）の範囲内で要求。
- グリーン、デジタル、地方活性化、子供・子育てへの予算の重点化を進めるため、「基本方針2021」及び「成長戦略実行計画・成長戦略フォローアップ」等を踏まえた諸課題について、「新たな成長推進枠」を設ける。各省大臣は、前年度当初予算における他の経費に相当する額と要望基礎額の差額に100分の300を乗じた額及び義務的経費が前年度当初予算の額を下回る場合にあっては、当該差額に100分の30を乗じた額の合計額の範囲内で要望。

2. 予算編成過程における検討事項

- 要求・要望について、これまでの歳出改革の取組を基調とした効率化を行う。その上で、「新たな成長推進枠」において要望された経費については、「新経済・財政再生計画」における歳出改革努力を継続するとの方針を踏まえ措置する。
- 消費税率引上げとあわせ行う増（これまで定められていた社会保障の充実及び「新しい経済政策パッケージ」で示された「教育負担の軽減・子育て層支援・介護人材の確保」）については、前年度当初予算の例に基づき所要の額を要求するものとし、その対前年度からの増加の取扱いについては、予算編成過程において検討する。
- 子供・子育てについては、「子供に関する様々な課題に総合的に対応するため、…こうした機能を有する行政組織を創設するため、早急に検討に着手する」及び「十分に安定的な財源を確保しつつ、有効性や優先順位を踏まえ、速やかに必要な支援策を講じていく」との方針を踏まえ、予算編成過程において検討する。

- ①新型コロナの経験を踏まえた柔軟で強靭な保健・医療・介護の構築
- ②ポストコロナに向けた「成長と雇用の好循環」の実現
- ③子供を産み育てやすい社会の実現
- ④安心して暮らせる社会の構築

「保険」「社会福祉」「公的扶助」「保健医療・公衆衛生」から成り立つ社会保障制度をさらに充実させる予算編成が期待されています。

●雪の聖母会健康保険組合の令和2年度決算について

雪の聖母会健康保険組合の令和2年度決算は、収支残高では、予備費の未執行分と合わせて1億3719万7千円（対前年比5533万7千円減）、経常収入支出差引額では1億2497万円（対前年比5813万6千円減）となりました。

健康保険組合の健全な財政運営を推進する上で、「実効性のある医療費適正化対策」「後発医薬品の

使用促進」「特定健康診査・特定保健指導の実施」を強化し、被用者保険の保険者としての機能が果たせるよう、第2期データヘルス計画の中間見直しを令和2年度末に行い、令和3年度の計画においては、健康保険組合および事業主における健康課題を抽出し、課題解決に向けた評価指標を導入することにより、保健事業を効果的・効率的に実施するために推進することとしていますので、被保険者並びにご家族の皆さんにおかれましても自分自身の健康づくり、医療費の節減に引き続きご理解とご協力をいただきますよう、お願い申し上げます。



令和2年度 収入支出決算概要

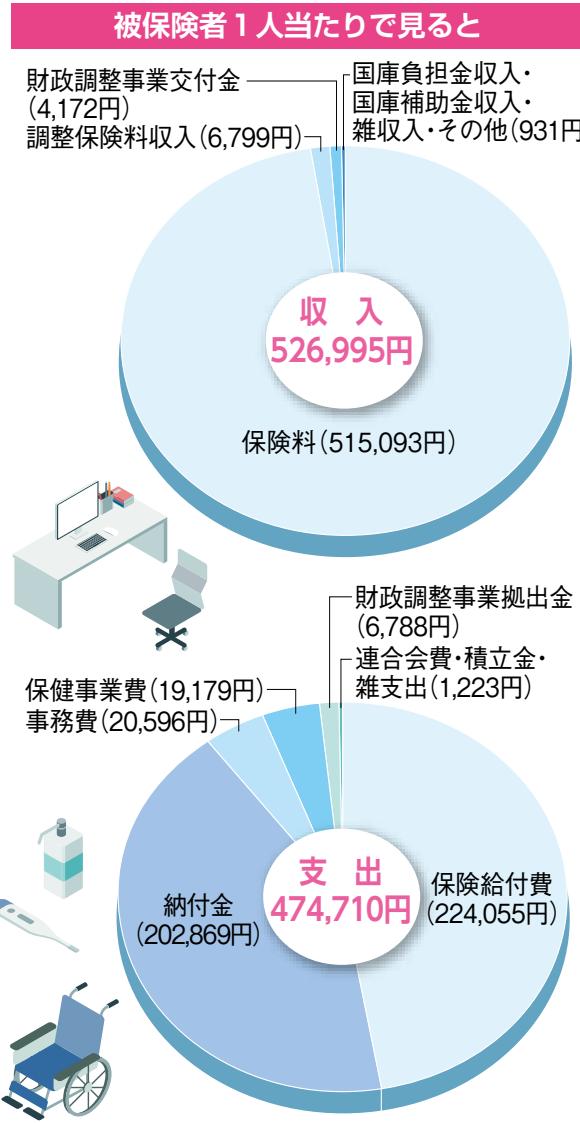
健康保険分

収 入 (千円)	
保 險 料	1,351,605
国 庫 負 担 金 収 入 ・ 他	347
調整保険料収入	17,840
国 庫 补 助 金 収 入	545
財 政 調 整 事 業 交 付 金	10,948
雜 収 入	1,551
合 計	1,382,836
経常収入合計	1,352,796

支 出 (千円)	
事 務 費	54,043
保 險 給 付 費	587,921
法 定 給 付 費	577,344
付 加 給 付 費	10,577
納 付 金	532,327
前期高齢者納付金	233,060
後期高齢者支援金	299,256
そ の 他	11
保 健 事 業 費	50,325
財 政 調 整 事 業 披 出 金	17,812
連 合 会 費	778
積 立 金	2,367
雜 支 出	66
合 計	1,245,639
経常支出合計	1,227,827
収入支出差引額	137,197千円
経常収入支出差引額	124,969千円

介護保険分

収 入(千円)	
介 護 保 險 収 入	128,454
繰 入 金	5,000
国 庫 补 助 金	311
合 計	133,765



支 出(千円)	
介 護 納 付 金	118,417
合 計	118,417
収入支出差引額	15,348千円

